

いちご(さちのか・普通ポット)本圃

月	旬	作型	主要作業	栽培の要点	摘要																			
9	上	x	定植床準備	(定植及び活着促進) クラウン径 10mm以上 葉数 5~6枚 病気がない健全な株	(栽植密度) 内なり 畦幅 120cm 株間 20cm 外なり 畦幅 120cm 株間 20cm (定植床の施肥例)kg/10a当り <table border="1"> <tr> <th>肥料名</th> <th>基肥</th> </tr> <tr> <td>完熟たい肥</td> <td>3000</td> </tr> <tr> <td>ミネリンパワー</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>とよのか2号</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td colspan="2">N-P-K=16-21-4</td> </tr> </table>	肥料名	基肥	完熟たい肥	3000	ミネリンパワー	100	とよのか2号	200	N-P-K=16-21-4										
	肥料名		基肥																					
	完熟たい肥		3000																					
	ミネリンパワー	100																						
	とよのか2号	200																						
	N-P-K=16-21-4																							
	中	定植 (本葉5~6枚) (9月15~20日)	根が白い苗 白根率 70%以上 花芽検鏡により分化を確認後定植する。 (花芽文化程度 肥厚中期~後期) ・花芽分化後、花房の向きを外側に植える。 ・腋花房検鏡用の株を10株植える。 ・細かい水管理、株元への土寄せ、パーク堆肥の施用などを行う。 ・定着後、ヨトウ類や炭そ病の 防除を徹底する。																					
	下	灌水の徹底	(活着から収穫開始頃までの管理) ・活着からマルチ前までは、2~3日間隔で灌水する。 ・マルチは、出蕾初め頃を基本とする。被覆後は、すそをめくっておくが、乾燥するようであれば早めに下ろす。 ・ビニール被覆後にうどんこ病、ダニ、ヨトウムシの予防を徹底する。																					
	上	#	マルチ被覆 (頂果房出蕾)	・平均気温17 以下(10/下旬頃)になったら、ハウスビニールを被覆する。(第2果房分化後) ・果梗引き出しのためのジベレリン処理は必要ないが、出蕾が揃った頃、茎葉を柔らかくするため、ジベレリンの葉面散布を行う。(3ppm、100L/10a)		(葉数・葉長の目安) 葉数 定植期 6枚(最低5枚) 開花期 8枚(" 6枚) 収穫始期 12枚(" 10枚) 収穫最盛期 16枚 草丈 花芽分化期 15cm以内 開花期 20cm以内 収穫始期 25cm程度 (電照方法) 日長延長型 連続2~3時間 間欠照明型 1時間に15分 照明を8~12回																		
	中		ハウスビニール	・開花し始めたら、ミツバチを搬入する。 ミツバチの活動温度 20~25 (18 以上で活動開始、30 以上では天井に移動) ミツバチの活動適湿度80%以下 ・収穫開始までに、定期的に脇芽の整理を行い、樹勢に応じ、1~2芽とし、以降は放任とする。 ・休眠防止対策。 電照の場合:12/上~(とよのかより少し遅い) ジベレリン処理の場合 12/上から3ppmで2週間に1回程度散布する。																				
	下		開花 蜂入れ	(収穫期の管理) ・最低気温が10 以下になれば、2重カーテンによる保温を行う。																				
	上	#	収穫開始	温度管理目安 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">生育ステージ</th> <th colspan="2">気温()</th> </tr> <tr> <th>昼</th> <th>夜</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定植~出蕾</td> <td>25~30</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>出蕾~開花</td> <td>25</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>開花・結実期</td> <td>20~25</td> <td>5~8</td> </tr> <tr> <td>果実肥大期</td> <td>20~25</td> <td>5~8</td> </tr> <tr> <td>成熟・収穫期</td> <td>15~20</td> <td>5前後</td> </tr> </tbody> </table>		生育ステージ	気温()		昼	夜	定植~出蕾	25~30	-	出蕾~開花	25	-	開花・結実期	20~25	5~8	果実肥大期	20~25	5~8	成熟・収穫期	15~20
生育ステージ	気温()																							
	昼		夜																					
定植~出蕾	25~30	-																						
出蕾~開花	25	-																						
開花・結実期	20~25	5~8																						
果実肥大期	20~25	5~8																						
成熟・収穫期	15~20	5前後																						
中	休眠防止対策	・灌水は、2~3日に1回を基本とし、3月以降気温が上昇すると、灌水量を増やす。 ・追肥は、灌水2~3回に1回程度少量の液肥(Nで0.1~0.2kg/10a)を施す。なお2月期は、先青果対策として追肥を控える。																						
下	電照打ち切り シベ最終散布	・着果は、草勢に応じて必ず行う。 ・黄化葉、果梗枝、不要なランナーの除去は適宜行う。																						
上	3	上	・3月以降、葉の老化防止・過熟果防止、種浮き果発生防止のため、遮光処理を行う。 レデイソル1/2缶+クレフノン10kg(10a) 寒冷紗の高張り																					
中		下																						
上	4	上																						
中		下																						